

まんがならではの読みやすさ。

監修のことば

「まんが」は活字や映像とならぶすぐれた表現の手段として、限らない可能性をもっています。

このシリーズは、映像（絵）と活字のそれぞれの特色を生かして、明治・大正・昭和の日本の傑出した文学作品を厳選し、「まんが」で表現したものです。

原作の文章、ストーリーの展開、心理描写なども、少年少女の読書力を伸ばすことを考え、できるだけ原作にそった内容にしてあります。

対象とする読者は、少年少女です。しかし原作の質は落としていないので、これまで近代・現代文学になじみのうすい成人の方にも、十分読むにたえる内容になっています。

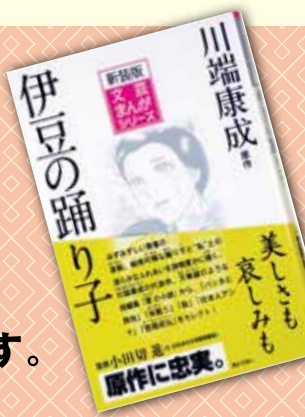
このシリーズがきっかけとなり、さらに原作や、そのほかの文学作品が読まれることを願っています。

監修／小田切 進（一九二四～一九九二年）

文芸評論家、立教大学名誉教授、元・財団法人日本近代文学館理事長、元・県立神奈川近代文学館館長。



若者の活字離れを懸念し、近代名作への橋渡しにと20年前に発刊された「文芸まんがシリーズ」全30巻の中から、人気の高かった15冊を厳選。サイズや値段もよりコンパクトになった新装版として発刊します。



■特別寄稿
マンガと文学より

文学の本当の楽しさは、文体を味わうことにあります。ですから、マンガだけを読んで、文学をわかったようなつもりになることは、危険でもありますし、その結果、原作の文章そのものを味わう機会を失ってしまうことになるのであれば、もったいないことではあるとわたしは考えます。

マンガを読むというのは、あくまでも、入口にすぎません。この入口から文学の世界に入っていく、より深く、文学そのものを味わっていただきたいと思っています。それをきっかけとして、多くの人々が、文学の楽しさを知ることになれば、この名作マンガのシリーズの意義もより深まることになるでしょう。

三田 誠広（作家）



一九七七年、「僕って何」で芥川賞受賞。その他「いちご同盟」（一九九〇年、河出書房新社）、「空海」（二〇〇五年、作品社）、「阿修羅の西行」（二〇一〇年、河出書房新社）など著書多数。

日本文藝家協会副理事長、著作権情報センター理事、日本点字図書館理事、著作権問題を考える創作若団体協議会議長。

商品に関するご照会・お申し込みは フリーコール（通話料無料） TEL：0120-953-431 Web URL：https://shop.gyosei.jp
電話受付時間：平日9時から17時 FAX：0120-953-495 サイト

■個人情報の取り扱いについて
【利用目的】 ご注文に関するお客様への連絡、配送、代金の請求及びメール等による商品の案内に利用させていただきます。
【第三者提供】 お預かりした個人情報の第三者への提供はありません。
【委託】 利用目的の範囲内で業務を行うために、個人情報の取扱いを委託する場合があります。
【個人情報提供の任意性】 個人情報の提供はお客様の任意となりますが、商品のお届けなどに誤りが生じないよう、正確にご記入願います。
【開示等の求めに応じる手続】 利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加又は削除、利用の停止、消去等をお求めの際は、次の窓口にお問い合わせください。
【個人情報相談窓口】 株式会社ぎょうせい 出版営業部 営業課 電話03-6892-6562 受付時間 平日9時～17時
【個人情報保護管理者】 情報管理担当執行役員

申 込 書	上記「個人情報の取り扱いについて」に同意し、下記図書を申し込みます。		年 月 日
	『文芸まんがシリーズ 新装版 15巻セット』		セット
	『文芸まんがシリーズ 新装版』全15巻（個別販売可）		
	坊っちゃん 夏目漱石 原作	ISBN 978-4-324-09009-1 コード3100507-01-001	文芸まんが新（坊っちゃん） 部
	三四郎 夏目漱石 原作	ISBN 978-4-324-09010-7 コード3100507-01-002	文芸まんが新（三四郎） 部
山椒大夫・高瀬舟 森 鷗外 原作	ISBN 978-4-324-09011-4 コード3100507-01-003	文芸まんが新（山椒大夫） 部	
たけくらべ 樋口一葉 原作	ISBN 978-4-324-09012-1 コード3100507-01-004	文芸まんが新（たけくらべ） 部	
怪 談 小泉八雲 原作	ISBN 978-4-324-09013-8 コード3100507-01-005	文芸まんが新（怪談） 部	
高野聖 泉 鏡花 原作	ISBN 978-4-324-09014-5 コード3100507-01-006	文芸まんが新（高野聖） 部	
杜子春・羅生門 芥川龍之介 原作	ISBN 978-4-324-09015-2 コード3100507-01-007	文芸まんが新（杜子春） 部	
地獄変・奉教人の死 芥川龍之介 原作	ISBN 978-4-324-09016-9 コード3100507-01-008	文芸まんが新（地獄変） 部	
銀河鉄道の夜 宮沢賢治 原作	ISBN 978-4-324-09017-6 コード3100507-01-009	文芸まんが新（銀河鉄道の夜） 部	
恩讐の彼方に 菊池 寛 原作	ISBN 978-4-324-09018-3 コード3100507-01-010	文芸まんが新（恩讐の彼方に） 部	
友情 武者小路実篤 原作	ISBN 978-4-324-09019-0 コード3100507-01-011	文芸まんが新（友情） 部	
山月記・李陵 中島 敦 原作	ISBN 978-4-324-09020-6 コード3100507-01-012	文芸まんが新（山月記） 部	
走れメロス・富嶽百景 太宰 治 原作	ISBN 978-4-324-09021-3 コード3100507-01-013	文芸まんが新（走れメロス） 部	
伊豆の踊り子 川端康成 原作	ISBN 978-4-324-09022-0 コード3100507-01-014	文芸まんが新（伊豆の踊り子） 部	
二十四の瞳 壺井 栄 原作	ISBN 978-4-324-09023-7 コード3100507-01-015	文芸まんが新（二十四の瞳） 部	
B6判・各巻定価（本体952円＋税）送料310円			
御住所（〒 - ）			
〔 社費・公費・私費 〕			
フリガナ 御氏名 ㊦ TEL			
e-mail			

※送料は2019年10月時点の料金です。



株式会社 ぎょうせい

(2019.10)

ISBN 978-4-324-09008-4

〒136-8575 東京都江東区新木場1-18-11
TEL：0120-953-431／FAX：0120-953-495

URL：https://shop.gyosei.jp

コード 3100507-01-000 文芸まんが新

●取扱者

新装版

文芸まんが
シリーズ
全15巻

監修／小田切 進

B6判・並製本・カバー装
224ページ（2色・64ページ、1色・160ページ）
各巻定価（本体952円＋税）送料310円
※送料は2019年10月時点の料金です。



ぎょうせい

伝えたい、文学のおもしろい。

新しい感動、
広がるイメージ。



原作へのこだわりが
世代を超えた共感を
生み出します。

今こそ読みたい、読ませたい。親子で楽しめる文学シリーズ。

●原作に徹底して忠実な構成が本書の最大の特長です。
脚色を一切していない分、原作の薫り、
味わいがそのまま伝わってきます。

●小・中学生でも読みやすく理解しやすいよう、
難しい漢字にはルビをふり、分かりにくい用語には
注を入れました。

●教科書で取り上げられることの多い作家の
作品ばかりです。原作への入門編として
子どもたちの読書指導にもお役立ていただけます。



時代背景を丁寧に描いています。

原作にある言い回しや、背景の建物・小道具等をきちんと描いているので、原作に基づいたイメージが広がります。

作品の解釈や作家の生立ちも きちんとフォロー

巻末には、専門家たちによる作品解釈や作家略年譜を掲載。
原作の正しい知識を学べ、作品の世界観もより深まります。



新装版 文芸まんが シリーズ

全十五巻 各巻のご案内

「坊っちゃん」

原作 夏目漱石

作画 登龍太／解説 小田切 進（文芸評論家）

「三四郎」

原作 夏目漱石

作画 大和正樹／解説 浅野 洋（近畿大学教授）

「山椒大夫・高瀬舟」

原作 森 鴎外

作画 津原義明／解説 竹盛天雄（早稲田大学名誉教授）

「たけくらべ」

原作 樋口 一葉

作画 中島昌利／解説 木崎さと子（作家）

「怪談」

原作 小泉八雲

作画 古城武司／解説 黒井千次（作家）

「高野聖」

原作 泉 鏡花

作画 田辺節雄／解説 菅野昭正（文芸評論家）

「杜子春・羅生門」

原作 芥川龍之介

作画 松田一輝／解説 浅野 洋（近畿大学教授）

「地獄変・奉教人の死」

原作 芥川龍之介

作画 古城武司／解説 尾崎秀樹（文芸評論家）

「銀河鉄道の夜」

原作 宮沢賢治

作画 松田一輝／解説 原 子朗（早稲田大学名誉教授）

「恩讐の彼方に」

原作 菊池 寛

作画 司 敬／解説 尾崎秀樹（文芸評論家）

「友情」

原作 武者小路実篤

作画 峰岸とおる／解説 三田誠広（作家）

「山月記・李陵」

原作 中島 敦

作画 司 敬／解説 川西政明（文芸評論家）

「走れメロス・富嶽百景」

原作 太宰 治

作画 広岡球志／解説 奥野健男（文芸評論家）

「伊豆の踊り子」

原作 川端康成

作画 望月あきら／解説 保昌正夫（文芸評論家）

「二十四の瞳」

原作 壺井 栄

作画 望月あきら／解説 木崎さと子（作家）

「二十四の瞳」

戦後の一大ベストセラー。戦争の不幸と悲劇を訴えて、今も幅広い読者を得ています。

